

松本深志高校の山岳部が創部から100年の節目を迎えたことを記念して、山岳部OB会(西村清亮会長)は19日から24日まで、安曇野市

## 深志高山岳部創部100年展

### 19日から山光ホールで

穂高柏原の市民タイムス安曇野支社山光ホールで「松本深志高等学校山岳部創部100年展」を開く。貴重

な写真パネルや古い登山装備品などが展示され、地元の北アルプスを主な舞台にして活動を重ねてきた深志高山岳部の歩み

を知る事ができる。創部当初の部員たちが北松本駅から白馬岳登山に出発する様子や、物資が乏しい中でも果敢に挑

備品が時代ごとに変化していくことも分かって興味深い。古いテントやピッケル、現在では使われなくなった「キスリング」

ある旧制松本中学時代の創部で、国内の高校山岳部では屈指の歴史を誇る。詳細は不明だが、大正7(1918)年には活動していたとの校内記録があるため、今年を創部100年の節目としている。

入場は無料で、誰でも自由に見学できる。各日とも午前10時から午後5時まで。問い合わせは市民タイムス安曇野支社(☎0263・82・0001)へ。



大正8(1919)年7月、白馬岳登山に出発するため北松本駅に集合した旧制松本中学の山岳部員(写真の手前中央、小野光仁氏=塩尻市北小野出身=のご遺族所蔵)